

2007-8-10 22:51

このミーティンググループのあり方について  
お盆休みに少し考えたいところです。

「このミーティンググループのあり方について。」

と言いますか、電子政府推進員の制度において、語り合えるのはこのミーティンググループしかないはずなのに、一部の方々しか発言していないのでは、会議とはいえないですよ。もちろん、年に1度か2度の集合の全体会議程度では、連絡とせいぜい現状把握程度で終わります。このミーティンググループをいかに活用するかが、電子政府推進員の存在意義を高めるものになるはずですよ。

つぎの、メンバーがどのように参加されるのかはわかりませんが、推進員である以上、文句でもいいから発言すべきですよ。また、受ける側はちゃんと何らかのコメントしないと、この場がむなしなものになってしまいます。豆腐に針さしてるみたいで、何してるのかわからなくなります。

毎月なり、特定の期間なりで意見を集約して、しかるべきところに提案・要請していくことを確認できるものでない限り、その有用性は半減してしまいます。総務省で設置していただいた制度であり、総務省の方がこのオーナーである以上、座長として総括をし、施策に一部でも反映していただきたいものです。

各士業は、電子申請・申告等の現場で四苦八苦しながら実践しています。その声を吸収して、国策に役立てていただきたい。でなければ、2010年50%なんて、「夢のまた夢」になります。

お盆で公務もなく、少し余裕があるのでボヤいた、井上新